

令和元年度病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ハダニ類)

令和2年2月26日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンドあたり平均0頭（平成：5.5頭）で、平成より少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は1バンド当たり0頭（平成：0.1頭）で、平成より少ない。
- (3) クワオオハダニの休眠卵数は1短果枝当たり0個（前年：0個、平成：1.2個）で、平成より少ない。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬密度

調査地点	カンザワハダニ（成虫）			ナミハダニ（成虫）			クワオオハダニ（越冬卵）		
	本年	前年	平成 ¹	本年	前年	平成 ¹	本年	前年	平成 ¹
東部	鳥取市 佐治町	0	0	0.0	0	0	0	0	0.5
	鳥取市 青谷町	0	(1.2) ²	0.0	0	(1.2) ²	0.0	0	0.3
	八頭町	0	0	38.7	0	0	0.4	0	0.5
中部	倉吉市 中野	0	0	0.0	0	0	0	0	0.0
	湯梨浜町 別所	0	0	0.8	0	0	0.1	0	2.3
	北栄町 由良宿	0	(0.7) ²	0.6	0	(0.7) ²	0	0	1.6
	琴浦町 竹ノ内	0	0	9.3	0	0	0	0	1.5
西部	大山町 坪田	0	0	0.0	0	0	0	0	0.5
	南部町 朝金	0	0	0.0	0	0	0	0	3.2
県平均		0	0	5.5	0	0	0.1	0	1.2

¹：平成はH21～30年の平均値

²：カンザワハダニまたはナミハダニの確認数、種の判別ができなかったため参考表記

*カンザワハダニ、ナミハダニはバンドを回収後、一定数を恒温器室内（23℃設定）で3週間程度観察し、種類別数を比率により推定

調査方法：9月に紙バンドをほ場に設置。園あたり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）。
12月に紙バンドを回収後、バンドあたりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。
同時に園あたり40短果枝を採取し、短果枝あたりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生密度が高かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには（1）～（3）、クワオオハダニには（3）が有効である。

(1) 誘殺バンドの取りはずし

主枝や垂主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

(2) 粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

(3) 薬剤散布

3月中旬に、マシン油97%乳剤（ハーベストオイル）50～100倍液を散布する。